

第 7 回北関東エリア検討会

2024 年 9 月 1 日、日本看護科学学会若手の会主催「第 7 回北関東エリア検討会」をオンラインにて開催しました。今回は、「臨床現場で研究スキルをどのように活かすか？」をテーマとし、臨床現場で勤務しながら看護研究に取り組んだ経験を共有し、臨床に根ざした研究を行う上での課題と解決策を考える機会とすること、そして研究者としての活動の幅を広げ、自身のキャリア形成の選択肢を増やすことを目的に開催しました。北関東から 8 名(エリア・コーディネーター含む)、北関東以外から 6 名、計 14 名の方々に参加いただきました。

医療創生大学国際看護学部の吽野智哉先生より、保健師として働きながら研究活動を継続したご経験を詳細にお話いただきました。その後、フリーディスカッションでは、実践と研究を繋ぐことの重要性和難しさ、臨床現場での研究活動を促進する方法について活発に議論され、参加者同士の経験もふまえた有意義な情報共有の場となりました。

参加者のコメント(アンケートより抜粋)

- 皆さんの実践をお聞きできた貴重な機会となりました。どんなことに悩まれているのか、それに対するお考えなどを聞いたことがとても参考になりました。
- 教員から公務員の経験を経て、教員に戻るという、ハイブリッドな職歴をお持ちの方のお話を聞かせていただき、その様な働き方もあるのだと関心を持ちました。どうしても、年齢や体力的なことを考えると自分は無理だと感じてしまうこともありますが、「やるかやらないか」を自分で決めていく、これは、研究においても同じことがいえると思いました。
- 現場で課題とされる事象に対してよく知っているのは臨床現場であり、臨床の方の疑問の言語化とそれを説明する概念や理論、そして解明する方法にヒントを提示する役割が大学教員にはあると改めて気付きました。

スケジュール

10:00-10:30 (30分) オリエンテーション&自己紹介

検討会の目的やスケジュールをお伝えした後、自己紹介を行います。
自己紹介では、氏名・所属・研究テーマ、検討会で聞きたいことなどをお話いただけます。

10:30-11:00 (30分) 講演

臨床現場での研究スキル活用について、ご講演いただきます。
医療創生大学国際看護学部 講師 吽野 智哉 氏

11:00-11:10 (10分) 休憩

11:10-11:50 (40分) フリーディスカッション

質疑応答や自由な意見交換を行います。

11:50-12:00 (10分) 諸連絡、アンケート等

